

ヘルスプランぎふ21推進会議 開催概要

- 1 日 時 令和5年3月20日(月) 13時30分～14時30分
- 2 場 所 オンライン (ZOOMを使用)
- 3 出席者 委員 11名、事務局4名

	団体名	職名	氏 名	備考
1	岐阜大学	教授	永田 知里	オンライン
2	岐阜県医師会	名誉会長	河合 直樹	オンライン 代理：西野好則
3	岐阜県立看護大学	教授	会田 敬志	オンライン
4	朝日大学	教授	磯崎 篤則	オンライン
5	食育推進会議	委員長	道家 晶子	オンライン
6	地域職域連携推進部会	部会長	上村 博幸	オンライン
7	岐阜聖徳学園大学	教授	小栗 和雄	オンライン
8	岐阜県地域女性団体協議会	副会長	三輪 やよい	オンライン
9	岐阜県国民健康保険団体連合会	常務理事	西垣 功朗	欠席
10	岐阜労働局労働基準部	労働基準部長	田之上 英治	欠席
11	岐阜県学校保健会	副会長	村田 明治	欠席
12	岐阜県後期高齢者医療広域連合	事務局長	早川 昌克	オンライン
13	岐阜県市町村保健活動推進協議会	保健師部会長	中林 直美	オンライン
14	岐阜県保健所長会	会長	久保田 芳則	欠席
15	岐阜県精神保健福祉センター	所長	奥村 佳子	オンライン

事務局

16	岐阜県健康福祉部	部 長	堀 裕行
17	岐阜県健康福祉部保健医療課	課 長	井上 玲子
18		係 長	山本 敦弘
19		技術主査	小川 麻里子

4 内 容

- 1) 挨拶 (岐阜県健康福祉部長 堀裕行)
- 2) 議事 (議事進行 永田会長)

(1) 岐阜県における健康づくりに関する現状及び取組について

○健(検)診について

- ・健診を受ける時間がない、運動する時間がないといった意見に対して何らかの対応をしていかなければ、これまでの状況から大きな変化は得られない。
- ・健診は、日曜日でも受診ができる体制など、県医師会なども含めて検討や関係者・機関から、健診の周知徹底が必要である。
- ・がん検診は、県でがん教育に取り組む体制が整っている。子どもたちに、がんとは何か、検診の必要性を伝えることができている。健康診断や運動する重要性についても、若年層から広めていくとよい。

○清流の国ぎふ健康づくり事業について

- ・清流の国のぎふ健康づくり事業を知らない人が多い。事業を広める手立ての構築が必要。新聞や広報誌ではなく、LINE等のSNSを活用し、広げていくこともよい。
- ・野菜ファーストプロジェクトの認知度が低いですが、周りを見渡すと野菜を最初に食べる方は増えている。
- ・健康経営の推進により、職域のヘルスリテラシー向上につなげたい。健康経営の入口は健康診断であり、健康を意識し、退職した後も引き続き意識を持っていただくことが理想的。県民のヘルスリテラシーの向上が、県民の健康寿命の延伸につながる。
- ・シニアクラブや女性の会などの関係団体を活用したPRができるとよい。

○その他

- ・PHRの活用を検討していけるとよい。
- ・清流の国ぎふ健康づくり優良活動の表彰団体にとって、受賞が励みとなり、モチベーションアップに繋がったのであれば、思わしい結果である。

(2) 次期健康増進計画の策定に向けて

○各領域の課題について

- ・食事の指標では、同じ目標項目が続いていて、目標未達成を示しているため、どこに原因があるかを明らかにし、解消する方法を探り、提案していかなければならない。
- ・意識的な運動の実施は難しいが、階段を上がるなど、日常生活動作での身体活動を把握していくべきではないか。
- ・たばこはエビデンスもあり、害があることがわかっている。時期尚早かもしれないが、加熱式たばこの問題が明らかとなっている。加熱式たばこを使っている方が多いので、何らかの対策が必要になると思う。
- ・歯科領域は、健診から始まり、歯周病、よく噛んでいる人の順で作成されており、流れがスムーズに構成されている。
- ・心の休養、健康づくりは見えにくい部分があり、どのように捉えていくかが非常に難しい。症状が重くなる前の予防的な関わりや心の健康を正しく理解していただくことが大切である。

○県民健康意識調査の分析について

- ・県民健康意識調査を分析する際、過去の調査結果との比較をしながら、年齢による特徴か、世代による特徴かなど、様々な角度から分析にできるとよい。
- ・県民の意識調査結果は蓄積されており、約20年間で、岐阜県がどのように変わったかを可視化させると、県民にとってもわかりやすくなる。
- ・次期計画の内容は、国に習うと総花的となり、重点がぼやけてしまう。岐阜県が特に重点として取り組むことをわかりやすく発信することが大切である。
- ・データヘルス計画は、都道府県の健康増進計画等と調和させる必要があり、相互に確認しながら進められるとよい。